

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援らびっと		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 10日		～ R7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R7年 3月 4日		～ R7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R7年 3月 5日		～ R7年 3月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の様子と訪問先施設での様子の違いを把握することで、集団生活における児への直接的なサポートや担当の先生に助言を促し、お互いの困りごとを解決する支援ができています	現場の先生がすぐに日々の保育に取り入れられるように、活動で使用しているものを提供したり声かけのコツを伝えたりしています。	園の先生方が求めているものや知りたいことを引き出せるような関係作りに努めたい
2	保育士とSTで多角的に取り組んでいる	それぞれの視点で情報共有を図る	情報共有の時間の確保
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	可能な限り情報共有は行っているが、時間の確保が難しい面もある	利用期間の制限もあるので、利用児が多くなる期間はマンパワー不足になりやすく、情報共有の時間確保が厳しくなる	振り返りの時間を固定化し、スタッフ間の情報を共有する
2			
3			